

令和元年10月12日の台風19号による被災から 2年が経ちました。災害現場の様子をお知らせします。

東日本を中心に甚大な被害をもたらした令和元年10月12日の台風19号の上陸から2年が経ちました。福島県では、地域の皆様の安全・安心の確保に向け、壊れた施設の復旧や河川の改修工事を進めております。

今回は、県北管内の災害復旧工事及び国土強靱化対策工事の竣工箇所をご紹介します。

小川(福島市飯坂町)



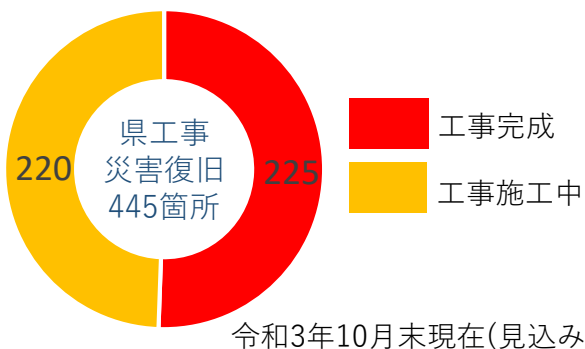
女神川(福島市飯野町)



大森川(福島市)



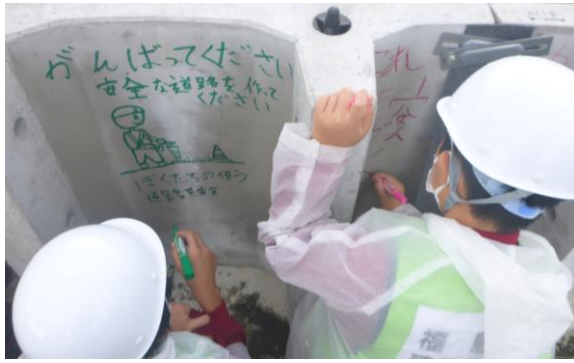
令和元年東日本台風による災害件数



市町村別	合計	完成	3月末完成予定
福島市	69	45	68
二本松市	183	75	182
伊達市	105	49	103
本宮市	22	18	22
桑折町	1	1	1
国見町	4	4	4
川俣町	53	27	53
大玉村	8	6	8
合計	445	225 (51%)	441 (99%)

いましばらくの間、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。

伊達市梁川町の梁川バイパス工事現場で 小学校の生徒さんが道路工事を体験しました！



建設業は10億というお金を使って、道に任せている人やみんなが通る人たちの役に立つ仕事だと分かりました。

重機に乗って、いろいろなレバーがあることが分かり、そのレバーを動かすのですごいと思いました。ありがとうございました。

福島県では例年、建設業の将来の担い手の確保に向けて、子どもたちに建設業に興味を持っていただけるよう、見学会の開催を行っております。
今年も10月12日に、桑折町の睦合小学校の5年生10名、6年生9名が道路工事（梁川バイパス）を見学され、重機に触れたり、思い出に残るよう構造物にメッセージやイラストを描く体験をしました。
見学後にはたくさんのお手紙をいただきましたのでご覧ください！！

ぼくは、道路ができるまでいろいろな仕事があることが分かりました。こんな大きな橋を作るなんてすごいなと思いました。

道路をつくるには、コンクリートと土の詰めだけがなく、せりやみたりなどいろいろな作業がある事がわかりました。

私は見学会で初めて10億円のお金を集めてた人のために働いていることが、橋はよく作るけど見学してから橋をまたる時に力が思い出したなと思いました。

私は、道路を作る人たちの仕事がよく分かりました。道路を作るには、順番通りに一つの作業をして作るの分かりました。橋の長さは、520mとあるの分かりました。橋が完成したら、今度わたりたいと思いました。



わたしはおし団めをして、機械を体験してみてもすごいし、動かすことが分かりました。このようにして工事の作業をしているのかと実感しました。

ぼくは、道並み（はい）いろいろな負荷で支えられていることが分かって、大変強くなりました。ぼくは道路をかく工夫を知らず、すごいと思いました。本当にありがとうございました。

県北建設事務所発注工事現場を担当されました 3名の方が表彰されました！

優良企業現場代理人表彰受賞者及び優秀施工者県知事顕彰受賞者

～優良企業現場代理人表彰とは～

工事現場の安全確保に貢献した現場代理人の成果を称え、表彰を行うもの

～優秀施工者県知事顕彰とは～

特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導、育成等に多大な貢献をされている建設技能者を称え、表彰を行うもの



協三工業(株) 吉田 裕幸 氏

近年、橋梁の補修工事が重要視されておりますが、品質確保はもちろんのこと、安全対策や工期短縮に努めるほか、工事従事者の健康管理にも配慮し、仕事を進めております。今後も、専門的な技術や知識の習得に努めるとともに、後進の育成や地域社会の発展にも、取り組んでいきたいと思っております。このたびはありがとうございました。



(株)古俣工務店 大橋 孝志 氏

このような素晴らしい賞を受賞でき、大変光栄です。今後はこの受賞を励みとし、より一層の品質管理及び安全管理を含め、技術の向上に努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



(株)エヌティーエス 佐藤 秀喜 氏

法面処理工事の専門施工者として、今回受賞できたことを大変うれしく思っております。これからも引き続き、社会貢献として地域の方が安全安心な暮らしができるよう工事として行きたいと思っております。

福島県県北建設事務所 企画調査課
電話番号 024-521-2514 FAX 024-521-2849



県北建設事務所HP



河川ライブカメラ

県北管内の川の様子をご覧いただけます。